

びふか 議会 です

こんにちは。

2019年11月
北海道／美深町議会



私が町長になったら…

美深中学生と議長との対話(14～15ページに特集記事)
南 和博議長をはさんで右が田村圭司校長、左が綿谷純一教頭

国事業の 福祉対策商品券など補正 …… 2 ページ

使用料改正 継続審査へ …… 3 ページ

**決算
特別委員会** 平成30年度
予算はこのように使われた …… 4～7 ページ

ここが聞きたい 4議員が
一般質問 …… 8～12 ページ

**私からの
メッセージ** 百間は一見に如かず 芹川 弘 樹 …… 16 ページ
さらば、生徒会長 結城 梨 音

第111号

美深町議会

検索

ホームページから
議会の動きをご覧
いただけます。



この議会広報は、地球にやさしい
再生紙を使用しています。



古紙パルプ配合率60%再生紙を使用

第3回定例会

消費税増税に伴う福祉対策

国事業の商品券など

4264万円を補正

主な質疑

商品券交付の
手続きは

質問 今回のプレミアム商品券（住民税非課税世帯対象）はどのような手順で行うのか。

保健福祉G 主幹 対象者全員に申請書を送付する。期間は来年3月末で、引き換えは商工会に委託する。

観光協会ホームページ更新

質問 観光協会のホームページ更新があるが、その経緯は。

企画G 主幹 現在の提携業者が廃業となり、新たな業者と提携が必要になった。

質問 現在のホームページは情報発信の核になっていないのではないか。

企画G 主幹 パソコンのほか、スマートフォンやタブレットでも閲覧できる機能を持つものになる。発信の内容や更新も含め観光協会と協議し、情報発信の核になるよう進めていく。

特別支援員の体制は
質問 美深小学校特別支援員の予算が減額になっているが、

体制に支障はないのか。
教育G 主幹 支援員一人が交代し、経験年数による賃金の差額分を減額した。教員免許も持っており、子どもへの指導は問題ない。

質問者 荒川・藤原 岩崎・齊藤 和田議員

補正前の額	補正額	補正後の額
55億8,969万円	4,264万円	56億3,233万円

主な一般会計補正事業

町有建物解体工事費	540万円
宗谷本線維持負担金	78万円
非課税世帯プレミアム商品券	500万円
特別養護老人ホーム地下タンク配管改修工事	235万円
ぬくもり助成事業費	180万円
ごみ収集車入札減	△29万円
森林環境整備基金積立金	860万円
観光協会ホームページ作成費	81万円
豊清水川横断管修繕	450万円
ロータリー除雪車入札減	△329万円
子ども子育て支援システム改修	474万円
給与費	△246万円



まもなく今期の営業を終えるキャンプ場

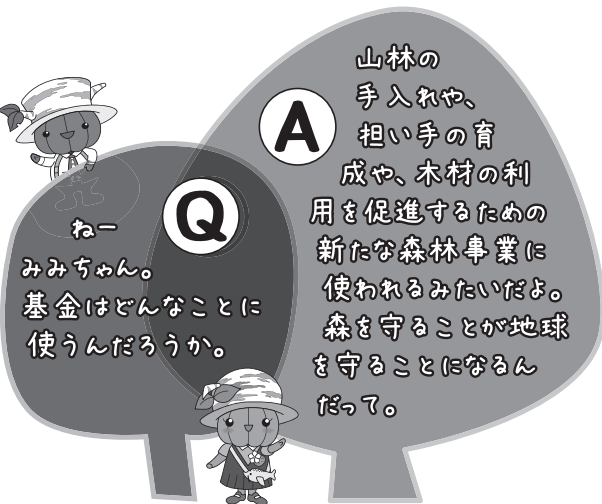
公共施設使用料金改正 継続審査へ

総務住民
常任委員会

消費税率改正に伴い、各種公共施設使用料金を改正する「消費税及び地方消費税の税率改正に伴う関係条例の整備」が提出された。その中に消費税率の

変更だけでなく、宿泊費などの料金見直しも含まれており、条例の一部改正ではあるが、総務住民常任委員会に付託された。委員会では料金改正

森林環境税と分配される森林環境譲与税 令和6年度から住民税へ上乗せ1000円



森林環境整備に森林環境税を新設し、それを

原資に森林環境譲与税が地方に分配される。新たに制定した基金

森林環境整備基金条例制定へ 基金積立 860万円

森林環境譲与税
令和元年交付分

部分に意見が出され、委員会としての結論には至らなかった。改正案ではキャンプ場の利用料金は近隣町村の料金設定に合わせ、温泉

宿泊料の上限枠見直しで経営改善も図る意向であったが、見直し額が適正かどうかも詳しい調査が必要と判断し継続審査となった。

条例は、その譲与税を基金として積み立て新たな森林事業の資金として活用を図るもの。産業教育常任委員会に付託され、審査後、本会議で可決。交付は税収より先行して行われるもので、今年度の美深町への交付額は860万円となる。森林環境税は、令和6年度から住民税に1000円上乗せして徴収される。



新たな森林整備に期待

〔一般会計のなかみ〕
町民1人あたり
このように
使われました。

一般会計総額
50億4899万円
 町民1人あたり
約118万円

平成31年3月31日現在 人口4,278人



中野 勇治 決算審査特別委員長

総合計画
 第1章

自然環境と調和する
安全・安心なまち「美深」

主な質疑

新エネルギーの活用は

質問 温泉バイオマスボイラーの稼働状況と課題は。

企画G 主幹 暖房・給湯のボイラーなので、夏の稼働率は低く、全体計画の70%。温度設定を変えるなどして、有効活用になるよう工夫をする。

暮らしの現状は 美深霊園の現質問 状と合同墓を設置する考えは。

生活環境G 主査 1 2 6 6 区画のうち、5区画が返還さ

れた。389区画が空区画。合同墓は、課題として研究したい。



有効活用したい木質バイオマスボイラー

さらに使いやすい住民の足に

質問 ふれンドバスの利用者が固定化していることから、玄関先からの乗車に変更できないか。

企画G 副主幹 公共交通活性的な協議会でも出ている課題で業者の対応や負担増、実証

運行などの課題もあり難しいが改善できることがあるのか検討してみたい。

消防団員補充に考えは

質問 仁宇布自衛消防隊の現状では、隊員への報酬はあるのか。消防団員への編入を図っては。

総合計画
 第2章

資源をいかす
活力に満ちたまち「美深」

農産品の販路拡大は

質問 P R事業の実績は上がっているのか。

農業G 農畜産係長 成果がもの、単年度での実績が見えづらい。産地指定の確保にも取り組んでいる。消費者との対面での取り組みなど

消防 副署長 隊には年間10万円の活動資金を支払っている。個人への支給はないが、研究してみたい。消防団員は受け入れる。



消防団員募集

質問者

岩崎・和田
 小口・藤原
 委員

成果が見えるよう継続して取り組む。

クリーン農業の取組は


質問 生分解性マルチの普及率は。全戸普及を目指しクリーン農業をさらに進めるべきではないか。

農業G 農畜産係長 平成30年から支援を充実させて61戸、面積対応で75%まで普及している。継続して支援していくので成果が上がると考えている。

質問 回収した廃プラスチックはどのように処理しているのか。


農業G 農畜産係長 苦小牧者で処理している。

土木費
5億9467万円




町民1人あたり
139,007円

衛生費
5億529万円




町民1人あたり
118,114円

総務費
4億6619万円




町民1人あたり
108,974円

民生費
5億5689万円



町民1人あたり
130,175円

教育費
5億440万円



町民1人あたり
117,906円

農地利用の現状は

質問 統計上、耕作放棄地はゼロと なっているが、どの ように判定しているのか。

農業委員会 事務局長 耕作放棄地はな いが、放棄地となりそ うな場所は現実には存 在し、所有者と協議の うえ利用促進を指導し 対処している。状況に より、地目変更も行う こともある。

質問 町外の者が購 入している例も あるようだが、対応と 対策は。

農業委員会 事務局長 町外の 存在するのは事実。地 元利用者が優先するこ とに変わりなく、町内 での購入がない場合、 町外の方に売却し利用 してもらおうが、農地法 に沿って処理している。

質問者 小口・藤原 岩崎・和田 五十嵐委員

総合計画 第3章

次代をつくる人を 育てるまち「美深」

英語教育推進事業の 成果は

質問 語学指導を2 人にしたことの 成果と今後の課題は。

教育G 主幹 ALTは昨 年8月から2 人体制でこまめに授業

に入るようにしている。 英語検定は全町で37名 の受験で75%の合格率。 今年から専任職員をつ けたことで、将来的に は幼児から高校までの 英語教育をスムーズに 進めていけるよう研究 していきたい。

郷土の歴史 資料の保存体制は

質問 学芸員の配置 については請願 でも上がったのだが、 郷土の歴史資料の保存 収集を続ける活動がしつ かりされていたか。

教育次長

学芸員の 配置につい ては、請願もいただき 重く受け止めているが 簡単ではない。郷土の 資料収集展示を美深と してどうしていきたい かを考え、今後進めて いきたい。

青少年自然体験 事業の継続は

質問 昨年はアドベ ンチャーがなかつ た。できなかつた理由 と今後の職員の体制は。

教育G 主幹 この事業と 自然体験を担 当していた地域おこし 協力隊員が任期満了し たため計画が進まなかつ た。別事業で自然体験 に取り組んだ経緯もあ るが、なくなつて残念 だという話もあるので、 体制も含めて検討して いく。

学級や講座事業の 課題は

質問 COMカレッ ジ大学の入学者 数が年々減少傾向であ り、男性の参加が少な いことについての課題 は。

教育G 主幹 ボランティア 活動をす

中で男性の力も大事。 高齢者の定義が変わる といわれている昨今、 学習の在り方をより良 い方向に考えていく。

質問者

小口・岩崎 藤原・和田 田中委員



展示物に説明がほしい郷土資料



新たな展開を期待したいCOMカレッジ事業

労働費
577万円



町民1人あたり
1,349円

公債費
5億5857万円



町民1人あたり
130,568円

消防費
1億8079万円




町民1人あたり
42,260円

商工費
5億5387万円



町民1人あたり
129,469円

農林産業費
2億8928万円



町民1人あたり
67,620円

総合計画
第4章

健康で明るく
暮らせるまち「美深」

支える人材不足
介護の現場

介護事業の人材不足への取組は。

保健福祉G 具体的には進んでいないが非公式で関係機関内で協議の動きもあり、それらを受け連携を強め対策を協議。

どうする
認知症への対応

質問 認知症による徘徊などへの対策は。

地域包括支援センター副主幹 迷子等名いるが、包括支援センター・SOSネットワーク・警察等と連携して対応。身元が確認できるよう靴や鞆など

に氏名を記入し連絡先が分かる取り組みを進めている。

満床が続く、特別
養護老人ホーム



入居者も楽しみな昼食時間

質問 特養は、満床が対策は。

保健福祉G 待機者介護保険係長 は30人程度だが他の施設や入院されている方も含む数

で実質はこれより少ない。入居は要介護3以上が対象で、介護度の高い順の入所となるが、緊急時の場合はショートステイ等の利用もできる。相談頂きたい。

地域医療の拠点
美深厚生病院の今

質問 厚生病院の損要因と対策は。

総合計画
第5章

みんなでつくる
心かようまち「美深」

買い物支援
サービスの課題は

質問 宅配サービスの運転者が高齢者であることに問題はないか。

企画G 平成24年度より実施しており好評な事業。社会福祉協議会を通して、シルバー人材セン

保健福祉G 入院・主幹 通院患者の減少と入院患者の医療費の増加が原因。改善に向け定期的に会議を開いているが課題は多い。固定医の配置は改善され、2名体制となった。

質問者

和田・齊藤 岩崎・小口 田中・名取 藤原委員

ターより3名体制で事業を行っており、事業内容も今後、介護予防事業と組み合わせ作っていく時期に来ている。

自治会元気づくり
交付金の実績は

質問 事業利用実績がなかったが状況はどうか。

企画G 平成29年度は順調であった。30年度は自治会長会議等にて呼びかけをしたが、利用がなかった。令和元年度に入って3件の申請があり、この事業は順調に進んでいる。

職員の任用制度
の取組は

質問 会計年度任用職員制度が新たに始まるが臨時職員・



厚生病院 桑原先生による健康講演会

一般会計総額 **50億4899万円**
 町民1人あたり 約**118万円**
 平成31年3月31日現在 人口4,278人

〔一般会計のなかみ〕
町民1人あたり
このように
使われました。

議会費 **5228万円**
 町民1人あたり **12,221円**



職員給与費 **7億6600万円**
 町民1人あたり **179,056円**



災害復旧費 **1499万円**
 町民1人あたり **3,504円**




東京美深会が世話をしている美深ハーブ園

非常勤職員への影響は。総務G 美深町も制度導入に向けて精査している。条例を含め次の議会で提案したい。現時点で職員に説明していないが、整い次第説明していく。

ふるさと交流人口の拡充は

質問 ふるさと納税は年々増加しているが、返礼品が目的なのか、縁がある人なのかの内訳は。ふるさと交流人口の定義及び現状と課題は。

土地・建物の寄附の扱い

質問 寄附を受ける場合、議会での議決などの決まりは。

副町長 付帯付きという条件のある寄附は、議会の議決

総務G 返礼品目的が9割で、交流目的の人はほほいしないものと思われる。

企画G 交流人口は東京・札幌美深会交流事業の参加数で、ここ数年は頭打ちだったが、札幌美深会で若い世代に新たな交流の可能性が出てきた。

質問 現在、観光大使は1名だが、もっと町と関係のある有名人に交渉して美深

財産に関する調書

が必要。

車検切れなどは大丈夫か

質問 車両管理の手続きは不具合の無いよう行っているのか。

町のアピールをすることが必要ではないのか。また、ふるさと交流人口をトロッコ利用者や温泉宿泊者なども含めて人口の拡充を図ってどうか。

企画G 各事業所と連携をして可能なことを進めたい。新たな観光大使の掘り起こしも行っていきたい。

質問者 和田・藤原 岩崎委員

質問 委託と指定管理者制度のあり方について、管理上のような問題点や課題があるのではないか。

副町長 指定管理者制度は、国の制度に基づき実施している。委託の制度とは別であり、適正に制度



適切な管理が求められる指定管理者施設

総務G ミスの無管理係長 いろいろ、管財と各所管車両管理者で管理している。

総括質疑

質問者 小口・岩崎 委員

町長 指摘は、率直に受けるが、人事は適材適所で行っている。

質問者 岩崎・齋藤 委員

まちづくりのための人材育成は

質問 まちづくり・人づくりの決算では、不用額が多い。行政の多様性と高度化に対応できる専門性のある職員の育成と新たな人材登用にしっかりと取り組むことが重要と思うが。

運用している。管理上の問題は、適宜指導していく。

4議員が
考え方をたず

一 般 質 問

(株)美深振興公社の経営は

健康寿命の延伸は介護予防の充実から

次期総合計画策定の考え方は

単年度で3700万円の赤字という実情が明らかになったのは、6月議会に提出された決算報告。小幅の赤字額で推移していた近年だが、30年度の大規模な赤字額は今後の経営について多くの疑問が指摘され、岩崎泰好・小口英治の2議員が質問に立った。

名取明美議員は、介護予防の充実により介護保険料等の負担軽減につながることを指摘、理学療法士の雇用と活用がその特効薬であるとして、健康寿命の延伸の観点からその重要性について質問を行った。

藤原芳幸議員は、人口減少が続く予測の中で、将来のまちづくり計画はどのようなかたちで進めるのか。策定作業が始まった次期総合計画の進め方の根幹をなす将来の人口問題に焦点を当て、質問に立った。



岩崎 泰好 議員

- ① ㈱美深振興公社の赤字体質に、経営改善の打つ手はないのか
- ② 学校図書館の計画的な整備と推進
学校司書の配置を再び問う

問

公社の赤字体質に
打つ手は

答

従業員の現状認識と
日々の努力や頑張りによる

町長 町は66・7%の株を所有する経営権を持った代表者。経営権を独占するものではなく地元出資企業や団体、11社が株主であり、役員の色々な意見を頂き、経営の方針について決定している。問われるまでもなく、会社の経営に関しては取締役など経営陣が責任を持つのは当然。これを代表する社長に責任がある。責任をどう取るのかは会社

質問

㈱美深振興公社の赤字体質について、経営改善の打つ手はないのか。
①経営の代表者として、どのように経営に参画しているのか。
②赤字の決算に至った責任の所在と、その責任の取り方は。
③今後の経営改善の方策を町民に示し、安心を与えてほしい。
④部門毎に公社化を図って、責任体制を。

年度	指定管理料	施設工事等投資額	町財政投入額合計
H20年度	6064万円	757万円	6821万円
H21年度	5980万円	6083万円	1億2063万円
H22年度	6155万円	2297万円	8452万円
H23年度	6155万円	3002万円	9157万円
H24年度	6155万円	1363万円	7518万円
H25年度	6155万円	3729万円	9884万円
H26年度	6603万円	2億3783万円	3億0386万円
H27年度	6532万円	1896万円	8428万円
H28年度	6596万円	4356万円	1億0952万円
H29年度	6855万円	2889万円	9744万円
H30年度	7163万円	4037万円	1億1200万円
合計	7億1413万円	5億4192万円	12億5605万円
年平均	6492万円	4927万円	1億1419万円

びふかアイランド 財政投入額
(過去11年間) ㈱美深振興公社関係分

として経営の改善に向け、目下努力しているところであり、今、責任云々ということに言及できるものではない。今後の経営改善を町民に示し、安心を与えてほしいという考え方がご指摘があるが、この公社の経営に関しては公社が取り組むものであり、町民に示すものではない。公社の分社化は、会社経営の方論の1つ。現在の従業員、パートを含む総体の数38人ほどであることを考えると部門ごとの連携強化や部門内

問

学校図書館の現状と課題
進捗状況は

答

計画的な整備と運用
司書はCOM100と連携

部の連携調整が一層重要であり、従業員が現状の実態を認識され解決に向けた日々の努力

質問

「読書の秋、学校図書館の力を子どもたちの力に」という質問を平成27年に行い、学校図書館の現状と課題について

教育長

小・中校とも適切に配置図書標準は蔵書の整理も含めて、学校図書館等整備基金で計画的な整備を進めている。学校司書は、努力義務だが、COM100図書室の司書が連携をとる体制をとっている。

質問したが、その時点の課題をどう検討されるか伺う。学校図書館の配置と図書標準は適切か、学校司書の配置は。

① 超高齢社会に向けた美深町の対策について



名取 明美 議員

問 健康寿命の延伸のため
理学療法士の雇用を

答 現在は派遣で対応、
努力していく

質問 超高齢社会に向けて、介護予防の充実による健康寿命の延伸を図るため、美深町としてどのような対策が必要と考え取り組むことが出来るのか町長の見解を伺う。

町長 現在、取り組んでいる介護予防事業については、訪問事業・通所予防事業を行っている。名寄市からの理学療法士の派遣で訪問リハビリ（年間30日）さらに包括支援センターでは運動指導士による運動機能向上（年間6回）を保健師とともに実施している。そのほか社会福祉協議会と各自治会での介護予防活動、サロンなど開催している。各事業開催については、町の広報誌、パンフレット等にて普及啓発をおこなっている。今後の高齢化率の推移については、徐々に高くなるが、高齢者人口は減少して

いくと思われる。

質問 介護保険料の現状は、4500円が基準額、実質5165円（665円基金助成）が町民に正しく伝わっていない。町長の見解を伺う。

町長 美深町の介護保険料は、努力目標としての数値であり、高い、低いという認識ではないが、町民へ正しく理解されるよう努力しなければならぬ。

質問 介護保険準備基金の利用方法が、抜本的な解決になっていないが町長の見解は。

町長 基金の性格が補填が準備金として必要であることを理解していただきたい。

質問 超高齢社会にたいしては健康寿命の延伸が特効薬となる。理学療法士を美深町で雇い、健康寿命を伸ばすことで、介護保険、医療保険を高くさせないという効果を生むのではないのか。

町長 将来、理学療法士を美深町独自に採用することは、行政負担がかかる。我が町のような自治体で

理学療法士等を十分確保していくことが可能かどうか考えていかなければならない。健康寿命をしっかり保つていくための予防リハビリ等々もやっていくことが一番大事。機会ある毎に、健康寿命のことについては努力していく。





小口 英治 議員

① 第3セクター施設の健全経営 (株)美深振興公社・(株)アウルについて

問

旧態依然の体系を
どう改善するのか

答

徐々に改善に向け
努力している

質問

30年度決算を見ると両会社とも大幅な欠損が生じているが、主たる要因と健全経営に係る抜本的対策は。チョウザメ施設拡大に対しての人員態勢と2023年度から収益が発生する推進計画だが進捗状況はどうか。

町長

改修工事、胆振東部地震での停電などがあり、会食

30年度決算を見ると両会社とも大幅な欠損が生じているが、主たる要因と健全経営に係る抜本的対策は。チョウザメ施設拡大に対しての人員態勢と2023年度から収益が発生する推進計画だが進捗状況はどうか。

で10000人、宿泊で19000人減少した。両施設ともお客様を待っているだけでは増収は不可能で、変化をつけた商品提供・利用者ニーズの動向を把握した商品構成での販売・営業で利益を上げる努力と経費の節減が主要対策。温泉部門は正職・パー

ト・嘱託など総員38名で現状不足の状況はない。稚魚育成計画では年間5000尾だが昨年は1700尾、魚肉は62kg21尾販売。

質問

公社から町に売却した2700万円がなかった場合、赤字幅の更なる上乗せ

質問

令和2年度までの営業計画に旧態依然の体系を改め省力化や社員の共同作業による経費の削減を謳っているが、内部で出来ることも限界になっている認識なので強力な指導・経営指導が必要で過去にも温泉・アウル共々同様な質問をし教育、接客、展示方法など改める旨の答弁があったが、未だに改善が見られない。

町長

当然、我々取締めの責任は感じていますが、今の段階でどうする、こうするという段階ではない。

質問

初めてのチョウザメ祭りでの試食会はどれも大変美味であった。28年度町職員と関連のある方々が奥飛騨、広島等視察したものが、どれだけ我が町の財産になっているのか。インターネットでキャビアを検索すると最初に宮崎キャビアが出てくるし、ANAの国際線のファーストクラスでも採用されている。販路拡大に向けてどの様な販売活動を実施しているのか。

町長

本格的な産業として辺溪の孵化棟を新設したが7、8年かかる。昨年、事業化に向けて専門部所も新設したのでこれから本格的なスタートだと理解願いたい。

町長

現場を含め我々も改善に向け鋭



親しみを込めた接客が求められる
びふか温泉

① 第6次総合計画策定の目標設定の考え方について



藤原 芳幸 議員

問 高齢化・人口減少は止まらないが

答 「そういう状況下で
どうするか」の視点を持つ

質問

老朽化が進む
公共施設の再編・

元気な高齢者の活躍にも期待したい。地域の意見、課題を集約した地域計画を推進するとともに、計画に向けた意見を進言してほしい。

町長 高齢化による社会変化は我が町だけでなく全国的な課題で、このことを前提とした計画づくりを検討しなければならぬ。

次期総合計画では、地域で活躍できる環境をどう作るのか。人口減少にどのような対策を考えるのか。また、その対策が実行されても、人口減少が続く予測の統計があり、将来の人口に対する考え方を伺う。

質問

65才以上の高齢者人口が町民の40%を超えたが、今後ともまちづくりには高齢者の力も必要。

改築も避けて通れない。どのような目標を立てるのか。

町長

生活に係るインフラや上下水道等の長寿命化計画は今後も継続し推進する。

老朽化した施設、特に昭和37年建築の役場庁舎は、耐震性も低く、災害時の拠点施設にならない現状であり、将来の改築に向け施設の集約化、複合化等を含め施設の在り方について、次期総合計画で検討したい。

問

子どもたちに地域・ふるさと教育の充実を

答

自己表現する力
になる

質問

美深の子どもたちは、町の将来を担う可能性のある大事な人材である。地域・ふるさとへの関心を持ってもらうことは重要で、特色ある教育の一つとして記述するべきではないか。地域を理解する力は他の町

を理解する力にもなるのではないか。

教育長

大きく変化する社会状況に合わせ、小学校では2020年度、中学校では2021年度から新しい学習指導要綱が始まる。従来の取り組みと併せ目標設定する。郷土愛を育む心や地域を知ることがふるさとを語る力になる。その能力は自己の考えを表現できる力でもあり、教育の基本となるものと考えている。



来年度からはじまる新しい学習指導要綱のテーマ

調査目

令和元年8月6日

調査事項 1

資源ごみ・有害鳥獣対策の現状と課題

まとめ

資源ごみは、過去5年間の受入実績に大きな変化はなく、処理も従来通り町内で処理さ

れており、適正に行われていると判断。

有害鳥獣の一時保管施設は、夏の捕獲数が予想を上回り冷凍庫の使用電力が想定を上回る結果となっている。

農村部の農作物被害だけではなく、市街地のカラスによる生活環境悪化も見受けられ、必要な防除対策と適正な捕獲に努めることが

調査事項 2

一般ごみ・炭化ごみ・し尿、汚泥の現状と広域事業を含めた今後の課題

まとめ

「ごみ埋立広域処分場の将来展望と併せ、広域ごみ処理施設計画は

求められる。

美深町においても新たな議論が必要。

総合計画の目標の一つ「ごみ」そのものを減らす努力・工夫が求められており、住民に的確でわかりやすい情報を伝える努力が必要。

委員会 調査報告 事務報

総務住民常任委員会 産業教育常任委員会

調査目

令和元年7月16日

調査事項 1

美深スキー場の現状と課題について

まとめ

①施設の整備は定期的な実施と保守管理体制は評価。

②利用者減少の対応策は子供無料や1日券の発行などの対応策が必要。

③スキー指導者の高齢化と減少対策も必要。

調査事項 2

認定こども園美深町幼児センターの現状と課題について

まとめ

①特色ある教育課程の充実や幼少連携の一層の推進に加え、保護者や地域との連携を実践しており、特にスタートカリキュラムは大きく評価。

②10月からの無償化による利用者増に伴う危険もあり、保護者の動

向を的確に把握し、職員体制を含めた対応を求める。

③現状の「びよびよーム」の取組は評価するが、場所が手狭になってきたことや開催頻度などの課題に対応するよう求める。

議会の動き・予定

- 9/ 5 全員協議会
- 9/ 6 議会運営委員会
- 9/13 第3回定例会 開会
- 9/13 提案説明、一般質問
- 9/17 産業教育常任委員会付託事件審査
- 9/17 総務住民常任委員会付託事件審査
- 9/18 決算審査特別委員会
- 9/19 決算審査特別委員会
- 9/19 議会運営委員会
- 9/20 本会議、議案審議、定例会閉会
- 9/20 議会広報特別委員会
- 9/30 「私が町長になったら」座談会
- 10/ 2 議会広報特別委員会
- 10/ 3 総務住民常任委員会所管事務調査
- 10/ 8 産業教育常任委員会所管事務調査
- 10/11 天塩町議会行政視察来町受入
- 10/16 議会広報特別委員会
- 10/18 総務住民常任委員会付託事件審査
- 10/23 産業教育常任委員会
- 10/24 議会広報特別委員会
- 10/24 総務住民常任委員会
- 10/29 上川管内町村議会議員研修会
- 10/30 議会広報特別委員会



私は、思っ！
何故、「議員」になったのか？

地方自治法の抜粋から「議員は、住民全体の代表者（一部の奉仕者ではない）として議会を構成し、

議員活動を通じて住民の意思を総合して町としての意思を形成する任務を有する」としている。

ある日の事、町民から相談を受け自分なりに相談者の要望に答えるよう努力した。町のためにどう考えるか！町民のためにどう考えるか！が重要な事であり、このことを、常に心に持ち、何度も読み返して日々の議員活動を自問自答している。
(名取 明美 記)



司会 2年生が授業の中で「私の町」というテーマで話し合いをして頂いたので、それをもとに議長とお話をしてもらいます。

議長 美深町の良いところはどうでしょう。

佐藤 子供の医療費が無料。

成田 町の人が仲良し。

加藤 自然が豊かで農作物が豊富。

近野 平和なこと。外でバーベキューをしても怒られない。

全員 笑!

本多 水がおいしい。

議長 よそに行かないと気が付かないことだね。

本多 本州に行くことが多いで、美深の水はおいしいなと思います。

和田 土地が広い。

議長 じいちゃんの土地は広いものな!

全員 笑!

議長 子供の医療費無料は小学生だけだったが、議会の意見で中学生までが無料に変わったんだよ。

加藤君の農作物がいつぱいというのは本多で、美深は野菜が何でも採れる北限。米もその一つです。近野君はどういうところで平和だかと思う?

近野 犯罪が少ない。

議長 昔はすごく大きな犯罪もあったんだよ。では次は、将来の不安について聞かせてください。

佐藤 少子化。

成田 遊べる場所がない。

加藤 病院やスーパーがなくなるかもしれない。

近野 高齢化と熊が出る!

全員 笑!

本多 農家の後継ぎがない。

和田 高齢化と積雪量が多い。

議長 少子化については不安なところで、幼児センターの無償化も国の施策。

ところで、子供は何人が理想ですか?

加藤 子供は何人でもいい。

全員 笑!

議長 成田さんの遊び場が少ないというのは?

成田 将来美深で子供を育てることを考えると遊び場所が少ない。噴水のところはお絵かきをするところもできていい。今は喫茶店とかみんなが集まれる場所がほしい。

議長 「びふか陽だまり」というのができるので利用してみてください。

では、あなたがこの町にこれからできることを聞かせてください。

新企画 未来を担う子ども達と 第2弾

新企画、議長との座談会「私が町長になったら」9月は美深中学校に伺いました。

今回参加してくれたのは2年生の佐藤愛華さん、成田くるみさん、本多夏葉さん、加藤聖哉さん、近野森汰さん、和田侑也さんの6人。

議長から議会と美深町の総合計画についての話のあと、自己紹介のゲームを行い座談会へ。

この企画のお話は、学校の授業の中で活かされ、美深中学校で学ぶ一人一人がこの町の未来を考える時間を共有していただいたとお聞きします。

今年度から始まった新総合計画（令和3年から10年間）策定作業に、中学生の意見が反映されることを期待して・・・。

美深町議会 議会広報特別委員会

本多

美深の農作物を買う。

近野

町のPR。

加藤

自然を守る活動をしていきたい。



成田

イベントなどの参加ができたらしい。

佐藤

大人になって美深に住む。



司会

「私が町長になったら」

議長

うん。みんな一度は外に出たいのかなあ？

全員

職場がない。

議長

それはどういう事？

全員

いない・・・

議長

将来美深に就職したい人はいる？

和田

いろいろな活動に参加する。



議長

地産地消ってやつね。

近野

PRできるものを増やす。



議長

おおおお！

本多

人がたくさん増えるのではなく、人がたくさん来る町にしたい。



和田

イベントを増やす。

どういう事をしたのかな？

議長

外からたくさん人が来てくれる町づくりは、本当に大切だと思います。人口を維持し、美深に住みたいと思ってくれる、そしてみんなが美深町に戻ってこられるような町づくりをしていきましょう。

佐藤

帰ってきたい町にしたい。

成田

安心して生活できる病院などの施設を建てたい。



加藤

美深の自然を使ったイベントを増やす。



私からのメッセージ

美深町民の
おふたりからメッセージを
いただきました。



百聞は一見に如かず

芹川弘樹

地域おこし協力隊として美深町に引っ越してきて半年が経ちました。

山できのこを採ったり、川で鮭を観察したり、毎日のように新しい体験をしています。中でも、私がこの夏、熱中したのは、美深に

生息する特定外来生物「ウチダザリガニ」です。私は美深に来るまで名前しか知りませんでした。川をよく見ると沢山のザリガニが潜んでいます。捕まえてその場で茹でて食べてみると、これが美味しい。泥臭さは無く、エ

ビのようにプリプリしていて、大きなハサミにはカニのような身が詰まっています。これは町民の皆さんにも知って欲しいと思い、早朝からザリガニを捕まえて食べるイベントを企画しました。参加者からは「ザリガニの存在

は知っていたが、食べられるとは思わなかった」「とても美味しい」との声を頂きました。簡単に情報が得られる現代ですが、情報を沢山聞くよりも、実際に見ることの大切さを改めて実感しました。私にとって美深は「知っている」を「体験した」に変えられる町です。もっと色々な体験をして、美深町をPRしていきたいと思っています。

さらば、生徒会長

結城梨音

10月1日、私は生徒会長を退任しました。生徒会に入ってきたきっかけは、高校に入ったら新しいことに挑戦しようと思ったからです。当初は、恥ずかしさもあり自分の素が出せず、ただ先輩の背中を追いかけることしかできませんでした。ですが、

先輩方はとてもフレンドリーで、場を和ませてくれたおかげで段々と馴染めるようになりました。生徒会は、学校行事の司会、企画等のほとんどを担当します。一年生の頃は、先輩方に任せっきりでしたが、いずれ私たちも運

営する日がくるのかと思うと、とても不安でした。時は過ぎて、昨年の10月から新体制となりました。中々上手くはいかず悩む時もありましたが、先生方のサポートもあり生徒会長としての自覚が芽生え、自信に繋がりました。

私は、生徒会に入ってから色々な経験ができたと思います。大勢の前で挨拶をしたり、地域に携わったりと、将来に進むための準備をすることができました。今は生徒会を引退していますが、卒業するまでは生徒会の一員だと思っています。今後の美深高校の更なる発展を願い、次期生徒会総務に未来を託します。

編集後記

春の改選から早くも半年が過ぎ、冬の使者がすぐそこまでやってきました。

新たな体制で編集している議会広報紙は、「住民にわかりやすく伝える」の基本を維持しつつ、これまでにない視点・考えを取り入れ、住民との関わりを重視していきます。

定例会の案内をリニューアルした予告版と閉会後の速報版を新たに発行。住民との接点を意識した内容へと衣替えをしました。これから多くの住民に読んでもらえる広報紙を目指します。

本年度は名取・田中・五十嵐の新人3名と、岩崎・藤原・小口の6名で編集していきますので、よろしくお願います。(藤原芳幸 記)